

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ikikata		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	主に個別対応で療育を行っていること。	できる限り1対1で対応できるよう、職員配置や部屋の調整を行っている。	スタッフ間での共有の時間を増やし、様々な視点から支援内容を検討していく。
2	お子さんの課題や発達段階に合わせて、活動を提供していること。	一人ひとりの発達段階を把握し、必要な要素を活動に組み込んでいる。	ご家庭や学校での様子を聴取し、より一人ひとりの生活に合わせた内容となるようにしていく。
3	多機能型として、幅広い年齢のお子さんの対応を行っていること。	ライフステージごとの困り感や課題について検討し、情報共有を行っている。	将来的な進路に関しても、情報収集し、関係機関との連携を増やしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	大人数での集団活動を行っていないこと。	個別での対応ニーズが多いため、大人数での活動の機会がない。	集団活動の要素を取り入れることができるよう、職員配置を調整していく。
2	保護者やきょうだい同士でのかわり合いが少ないこと。	療育の時間の中で、保護者会を開催できていない。	保護者の方からのニーズを聴取し、検討していく。
3	地域の方との交流を行っていないこと。	個別・短時間での療育を行っており、外出する機会がない。	スタッフが地域行事へ参加することなどを含め、かかわっていけるよう検討していく。